

けんえきでんせんしゅすいたいしき
県駅伝選手推戴式

1 1月5日(火)にありました。玉名荒尾の大会で42分
36秒でタスキをつなぎ、堂々2位で2年連続県大会出場

となりました。県大会は1 1月8日(金)なのでこの学校だよりが配付される頃には結果が
分かっていると思います。選手団の決意を載せます。

○きつい練習を頑張ってきたみんなの思いを胸に、たすきをつな
ぎ、3年生と一緒に九州大会に行けるように頑張ります。応援
よろしくお願いします。



○私は去年のタイムを超え、絶対に順位を上げてたすきをつなぎ
ます。応援よろしくお願いします。

○今年から新コースになっているので区間賞でゴールし歴代に名を刻めるよう頑張ります
す。そして1位でたすきをつなぎたいです。応援よろしくお願いします。

○駅伝は初めてだけど練習の成果を出し、最後までたすきをつなぎます。応援よろしくお
願いします。

○私は自分のベストを尽くし、九州大会に出場できるように頑張ります。応援よろしく
お願いします。

【キャプテンの決意】

○私たちは夏から男女ともに県大会出場という目標を掲げて練習を頑張ってきましたが、
男女ともに県大会には出場できませんでした。でも女子だけでも行けるので、男子の
分まで絶対九州大会に行くという目標を掲げて、これまで練習を頑張ってきました。私
は全国大会まで絶対行きたいので、5区までに1位で渡して、5区で1位を維持してゴ
ールしてもらいたいです。今回も県駅伝大会の応援よろしくお願いします。

【生徒代表激励のことば】

○女子駅伝チームの皆さん、県大会への出場おめでとうございます。県大会に出場する事
は決して簡単な事ではありません。僕は男子の駅伝大会を終えて、それを強く感じてい
るのでみなさんの凄さがよく分かります。そして勝った事もすごいと思いますが、それ
と同様にみんなが目標に向け誰一人あきらめなかった。そんな姿はとてもカッコ良く、
三中の誇りです。自信を持って大会に挑んでください。勝負なので絶対に勝ち負け
が出ます。県大会で勝つというのはとても難しい事ですが、大丈夫です。隣の人を見
てください。あなたには夏休みからどんな日も練習に取り組み、頑張った仲間がいます。
自信を持ち、そして練習や大会に出場できるのも今まで応援してくださったたくさんの
方々のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、自信を持って、そして楽しんでください
い。三中全員で応援しています。全員でエールを送ります。

3年生「性に関する講話・指導」

10月25日(金)の5・6時間目に体育館で講話を聴いた後、各クラスに分か

れて行いました。話をさせていただいたのは「まつおレディースクリニック」の松尾州裕 院長です。毎年多くの小・中・高校で性や生き方についてのお話をさせていただいています。生徒の感想の一部を紹介します。

- これから高校、大学、大人と楽しい事ばかりあります。しっかり考え、家族や友達、大切な人、自分を守っていきたいです。1つだけの命を大切に、後悔せず、楽しい人生を歩んでいきたいです。
- 大人の事情で殺されてしまった赤ちゃんたちがたくさんいると知ってすごく悲しくなりました。私は助産師さんになって、頑張って産む決意をしたお母さんや、生まれてきてくれた赤ちゃんにたくさん会うために、辛い事があっても勉強を頑張ります。
- 私はまつおレディースクリニックで生まれました。去年妹もまつおレディースクリニックで生まれました。お母さん、とっても辛そうだったけれど、妹とっても可愛いです。今日はありがとうございました。
- 経験談の中にはすごく複雑な気持ちになる話もありました。でも、このような話を聞いたからこそ、自分の命や授かった命を大切に生きていこうと思いました。
- 今日の講話を聞いて今まで大切に育ててくれた親に感謝しようと思いました。
- 一番びっくりした事は、妊娠した女子高校生がトイレで子どもを産み、その子を殺してしまった事です。この人がした事は絶対良くない事だけど、そんな状態になるまで悩んでいたんだと思うと、とても悲しい気持ちになります。
- 軽い気持ちでしてしまうと、相手を傷つけてしまうと分かりました。そして、性病は命を脅かすほど怖いものとは知りませんでした。しっかり大人になってお互いの気持ちを尊重できるようになってからしようと思います。
- 自分を守る事や信頼できる人がいる事が大切だと分かりました。



家庭でも“共に生きる”事について話題にされてみてください。

青春開花 ～みんなで奏でる声春のストーリー～ つづき

11月7日(木)に玉名荒尾音楽会が玉名市民会館ホール棟でありました。15校の代表が集まっての音楽会でしたが、本校からは文化発表会の合唱コンクールで金賞に輝いた3年1組が出演しました。本校では声の音域に合わせて男女関係なくパートを分けました。他の学校は男子と女子に分けてある学校が多かったですが、多様な音(声)が組み合わせり1つとなった時に感じる心地良さは素晴らしかったです。「音楽そのものを合わせ1つの“色”にするには、みんなの心を合わせる事が非常に重要です」と講評で話されました。これまでの努力も“見えて”くるような合唱でした。

